

— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。 —

使用上の注意改訂のお知らせ

2023年11月

製造販売元



日新製薬株式会社

山形県天童市清池東二丁目3番1号

HMG-CoA 還元酵素阻害剤

日本薬局方 アトルバスタチンカルシウム錠

アトルバスタチン錠 5 mg「NS」

アトルバスタチン錠 10 mg「NS」

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

この度、標記製品の「使用上の注意」を下記のとおり改訂致しますのでご案内申し上げます。
今後のご使用に際しましては下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

改訂内容（部：追記）

改訂後	改訂前																											
<p>【使用上の注意】</p> <p>3. 相互作用</p> <p>(2) 併用注意（併用に注意すること）</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3">(略)</td></tr><tr><td>レテルモビル</td><td>現行のとおり</td><td>現行のとおり</td></tr><tr><td>フチバチニブ</td><td>併用により本剤の血中濃度が上昇し、副作用が発現しやすくなるおそれがある。</td><td>機序：フチバチニブによる BCRP の阻害が考えられている。</td></tr><tr><td colspan="3">(略)</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	(略)			レテルモビル	現行のとおり	現行のとおり	フチバチニブ	併用により本剤の血中濃度が上昇し、副作用が発現しやすくなるおそれがある。	機序：フチバチニブによる BCRP の阻害が考えられている。	(略)			<p>【使用上の注意】</p> <p>3. 相互作用</p> <p>(2) 併用注意（併用に注意すること）</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3">(略)</td></tr><tr><td>レテルモビル</td><td>省略</td><td>省略</td></tr><tr><td colspan="3">(略)</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	(略)			レテルモビル	省略	省略	(略)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																										
(略)																												
レテルモビル	現行のとおり	現行のとおり																										
フチバチニブ	併用により本剤の血中濃度が上昇し、副作用が発現しやすくなるおそれがある。	機序：フチバチニブによる BCRP の阻害が考えられている。																										
(略)																												
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																										
(略)																												
レテルモビル	省略	省略																										
(略)																												

改訂理由

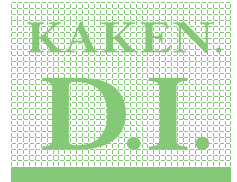
- ◆自主改訂

今回の改訂内容は、日本製薬団体連合会発行 医薬品安全対策情報(DSU No.322 2023年12月)に掲載される予定です。
最新の電子添文は、PMDA HP「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>) および
弊社 HP (<https://www.yg-nissin.co.jp/>) に掲載致します。
また、電子添文閲覧アプリ「添文ナビ」を用いて以下のGS1バーコードを読み取ることで電子添文をご覧いただくことが可能です。

アトルバスタチン錠「NS」



(01)14987447224011



2023年11月

使用上の注意改訂のお知らせ

HMG-CoA 還元酵素阻害剤
日本薬局方 アトルバスタチンカルシウム錠
アトルバスタチン錠5mg「NS」
アトルバスタチン錠10mg「NS」
ATORVASTATIN

このたび、標記製品の「使用上の注意」を以下のとおり改訂しましたので、お知らせいたします。
今後のご使用に際しましては、本改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

■改訂内容（_____：改訂・追記部分）

改訂後			改訂前		
【使用上の注意】			【使用上の注意】		
3. 相互作用			3. 相互作用		
(2) 併用注意（併用に注意すること）			(2) 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(省略、変更なし)			(省略)		
レテルモビル	(省略、変更なし)		レテルモビル	(省略)	
フチバチニブ	併用により本剤の 血中濃度が上昇 し、副作用が発現 しやすくなるおそ れがある。	機序：フチバチ ニブによる BCRPの阻害が 考えられている。	←追記		
(省略、変更なし)			(省略)		

■改訂理由

同一成分薬の使用上の注意の改訂に伴い、自主改訂により「併用注意」の項を改訂いたしました。

- ・ 今回の改訂内容は、「医薬品安全対策情報（DSU）No.322」（2023年12月）に掲載されます。
- ・ 最新の電子化された添付文書は、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）及び弊社ホームページ（<https://www.kaken.co.jp/medical/index.html>）でご覧いただくことができます。また、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ^{てんぶん}®」を利用し、

GS1バーコードを読み取ることでご覧いただくこともできます。

アトルバスタチン錠「NS」のGS1バーコード



(01)14987042388019



発売元

科研製薬株式会社

東京都文京区本駒込二丁目28番8号



製造販売元

日新製薬株式会社

山形県天童市清池東二丁目3番1号